

## 第68回大会（京都大会）大会案内

### 1. 京都大会の開催にあたって

京都大会実行委員長 河原 典史

第68回大会は2026年9月26日（土）・27日（日）に、立命館大学衣笠キャンパスで開催いたします。2012年の第54回大会以来、立命館大学での開催は14年ぶりの2度目となります。前回では、「琵琶湖の「漁業環境」を考える－湖国と古都の関りから－」というシンポジウム、そして「わかさ美浜のへしこを育てる女性たち－伝統的な魚食文化を活かす－」という地域振興のミニシンポジウムを開催しました。前回と同様、日本海側の海水面漁業にとらわれないシンポジウムのテーマ選定に苦慮してきました。今回は企画委員会のご尽力により、「瀬戸内海的环境変動と漁業対応（仮）」をめぐるテーマでシンポジウムの準備が進んでいます。シンポジウムでは、大会会場校と密接なテーマが選ばれることが通例ですが、実は京都府も瀬戸内海流域圏に含まれています。何より、これまで瀬戸内海における漁業政策・振興などに当学会が協力してきたことも看過できません。会員のみなさまには、地域とともに歩む当学会のポリシーを再認識するシンポジウムをお届けしたいと思います。

### 2. シンポジウム概要

研究企画委員会 委員長 原田 幸子

近年、海洋における海水温の上昇と酸性化が生じている。さらに、沿岸の閉鎖性水域では栄養塩類の減少が続いている。これらの海洋環境の変動により、水産資源や海洋生態系にも大きな変化が生じ、沿岸漁業や養殖業は生産の減少や生産構造の変化を余儀なくされている。特に、瀬戸内海の東部海域（播磨灘、大阪湾）では、海洋全体の変動に加え、琵琶湖など内陸部からの陸水や京都市や大阪市など都市排水からの栄養塩負荷の変化が、ノリ養殖やイカナゴ漁業といった地域漁業に大きな影響を与えている。

このような海洋環境の変動については、自然科学的研究が積み重ねられており、また水産資源の変動についてもある程度把握されてきた。しかし、海洋環境変動と水産資源変動の因果関係については、まだ十分に解明されておらず、不確実性が高い状況にある。さらに、水産資源の変動による漁業や養殖業への影響については、社会問題として注目されているものの、科学的な視点での現状分析や因果関係の解明は不足している。

一方で、漁業や養殖業は海洋環境変動の負の影響を受けるだけでなく、一部では影響緩和の対策や変化に対応した前向きな対応を講じている。このような漁業・養殖業による対応については、現場の取り組みが先行し、研究視点での現状把握や実態分析、さらに対応策の検討は遅れている。

そこで、このシンポジウムでは、瀬戸内海の東部海域を対象として、海洋環境や水産資源の変動を整理した後、漁業・養殖業の変化の状況を捉え、さらに漁業・養殖業による受け身の対応と先駆的な対応を合わせて検討し、人文社会科学系の研究分野としてそれらをどう捉え、どのような研究をしていくべきかについて議論する。

### 3. 大会一般報告申し込み、要旨作成の手順

事務局

一般報告のエントリーの期間、6月22日（金）～7月31日（水）に以下の URL からお申し込み下さい。当学会の学際性が色濃く反映されることと思いますので、学会報告を予定されている研究成果をお持ちの方、これから調査を実施される方は、ぜひ当学会大会でのご報告をご検討下さい。

なお、お申し込みの際には、本学会の年会費が間違いなく支払われていること及び報告エントリー費（1,000円）の入金が済んでいることが条件となっておりますのでご注意ください。

エントリーいただいた会員には受付完了のメールを8月末ごろに送信致します。報告要旨集ですが、予定として9月11日頃に本学会HPへ掲載しますので、各自でダウンロードをお願いします。

また、大会でご報告いただいた場合には、学会誌のなかの「報告論文」に投稿ができます。迅速、多彩な情報発信を支援する趣旨から、通常の論文投稿より投稿料が割安となっておりますので、是非とも積極的なご投稿をお待ち申し上げます。

#### [大会参加フォーム](#)

#### [報告エントリーフォーム](#)

#### [学会要旨ファイル](#)

※ 会費を滞納している会員は、一般報告に申し込むことができません。事前に会費を納めていただきますようご協力をお願いいたします。

- ・要旨集の執筆に際し、座長選出の参考資料となること、学会HP上で公表するので一定の研究公表の水準を確保すべき点、会員に限らず多くの方々が目にするものになることを考慮し、研究の概要を述べる部分に関しては800～1000字で記していただきます。
- ・「当日報告で詳細に触れる」のような書き方はせず、できるだけ調査内容・結果の概要説明を充実させて執筆いただきますよう、ご協力願います。
- ・各報告者からのデータを綴じて要旨集とするため、様式を統一して掲載できるよう、ひな形の書式等の設定は変更せず、1ページに収まるよう作成ください。
- ・お送りいただいた原稿は、報告要旨集として地域漁業学会のHPに後日掲載されます。

## 4. 大会スケジュール

事務局

現在、以下のようなスケジュールにて準備を進めておりますが、時間等が変更される可能性がございます。

大会参加費と懇親会費は、9/10（木）の期日までに事前振込にてお願いします。期日を過ぎますと当日支払いにてお願いします。

◆ 大会参加費（一般:3,000円、学生:2,000円）

◆ 懇親会費（一般:6,000円、学生:3,000円）

※上記は事前振り込みの金額。懇親会について、当日参加の場合は1,000円増。

◆ 一般報告エントリー料（1,000円）

9月26日（土）【1日目】（予定）

13:00～ シンポジウム

17:00～ 総会

18:30～ 懇親会

9月27日（日）【2日目】（予定）

09:00～ 一般報告（随時昼食）

※26日と27日の昼食は各自で持参ください。

※一般報告の目安は1報告 25分

（報告 20分、質疑応答 5分）

【問い合わせ先】 事務局：増崎、眞次、前田

info@jrfs.org（◎を@に変換して下さい）

**地域漁業学会** <https://jrfs.org/>

本部事務局 株式会社共立内

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル（株共立内）

（担当：地域漁業学会） TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

郵便振替：01750-0-83886

銀行振込：三菱UFJ銀行 新富町支店 普通 0146078